

## No.2477

### 展望の尾根歩き

#### 鷹ノ巣山

実施日 2010年9月11日(土)

天候 晴れ

リーダー 鈴木 政三

参加者 斎恵美子、鈴木政三、石附智江、  
遠井謙策、伊藤久雄、石原勝正、  
宇野照代、斉藤伸二郎 計8名

費用 2,270円(立川起算)

タイム 奥多摩駅(8:35バス)東日原  
(9:00~9:10美濃戸橋  
(9:25~9:30)稲村岩  
(10:20~10:30)1450m地点  
(11:45~12:15昼食)ヒルメシク  
イノタワ(12:50)鷹ノ巣山  
(13:20~13:45)避難小屋  
(14:05~14:10)浅間神社(15:25)  
峰谷(16:15~バス16:20)奥多摩  
駅(17:00)

東日原行のバスは2台でも混雑、この時期は暑いので少ないと思っていたのでびっくり。川乗橋でかなりの人が降りる、装備から谷遡上の人達と思われる。東日原から中日原先の道標に従って日原川に下り巳ノ戸橋を渡る。小さ



な沢に沿って稲村岩の岩壁を見ながら登っていく、沢を離れ急登すると稲村岩の

鞍部に出る。稲村岩の岩頭に立つ人もいた。ここから先約900mものきつい尾根登り、ブナ交じりの自然林の中の

歩きで日光が遮られて幸いだ、それでも暑くて辛い単調な登りが続く。ヒルメシクイノタワを過ぎ最後の急坂を喘ぎながら登りきると明るく開けた鷹ノ巣山の頂上に出る。



南側が開け展望が良い。石尾根は遮る木立が少ないので炎天下の歩きは厳しい、今回は避難小屋から浅間尾根を降ることに変更していたので良かった。

避難小屋は新しく非常にきれいな小屋である、既に数名がシュラフで場所取りをしていた。避難小屋から少し降りると水場があり、ここから浅間尾根を下る。この尾根も単調でひたすら歩く、



1200m付近からジグザグの急坂を降りきると浅間神社にでる。昔はきれいに整備され、祭事も行われていたと思われるが今はかなり荒れている。神社の鳥居を抜け奥集落から林道に出る。道標がありバス停には林道経由と登山道(昔道?)経由のどちらでも行けるよう表示されているが、後者に行く。草が



生い茂る細い道を経て旧道に入り三沢集落から車道に出る。峰谷バス停には時間ぎりぎりに着いた。夏の鷹ノ巣山はやはりトレーニングの山である。

暑い中参加された方お疲れさまです。

(記・鈴木 政三)

(写真提供・伊藤 久雄)